

平成23年 (2011)

観測史上最大の積雪を観測 今庄地区最深積雪244cm

1月30日から31日にかけて、福井県内は各地で雪が降り続き、南越前町も記録的な大雪に見舞われました。

県内の大動脈である国道8号や北陸自動車道は南越前町や敦賀市を中心に通行止めとなり多くの車が立ち往生。

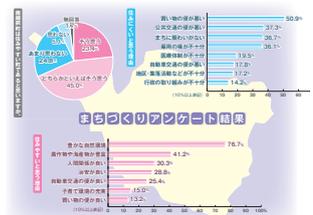
さらにJR北陸線は運休止し、今庄駅などでは列車が動けなくなりました。また、今庄では、観測開始以来最大となる244cmの積雪を記録、南条・河野地区も大雪となり、全小中学校が休校したほかビニールハウスの損壊や土砂崩れ、倒木など大きな被害を受けました。



住民意識調査(まちづくりアンケート)結果発表

南越前町では、1月から2月にかけて、10代から70代の男女1,200人(うち564人が回答)を対象に住民意識調査(まちづくりアンケート)を実施し、その結果をまとめました。

アンケートの結果、約7割の方は「豊かな自然の中で、おいしく新鮮な食料がある」、人間関係が良好な住みよい町」と感じているようです。



今庄宿の旅籠旧旅籠若狭屋、明治天皇の行在所明治殿、昭和初期の洋風建築旧昭和会館の3件が国登録文化財に、「上野の盆踊り」が県の文化財に指定

文部科学省に設置される文化審議会は、3月18日に開催された同審議会の文化財分科会において登録有形文化財(建造物)の新たな登録物件について審議し、「旧旅籠若狭屋」「明治殿」「旧昭和会館」を登録するよう文部科学大臣に答申を行ったことを発表。その後、正式登録されました。

また、上野に古くから伝わる盆踊りが、3月、県教育委員会が指定する無形民俗文化財に指定されました。伝統的な盆踊りの形態をよく残し、活気あふれる盆踊りらしさも継承されている点が評価されました。



羽島市と災害時における相互援助協定を調印

7月2日、花はす温泉をまやまで、南越前町と岐阜県羽島市との間で災害時における相互援助協定の調印式が行われました。

調印式には、南越前町から川野順万町長や向瀬英渡町議会議長ら6名、羽島市からは、白木義春市長や味岡弘市議会議長など5名が出席。協定書に署名し、固い握手を交わしました。

この協定は、東日本大震災と東京電力福島第一原発事故により防災力の強化が求められている中、友好提携を結ぶ羽島市へ申し入れたもので、物資・資機材の援助、職員的人的応援、被災者の受け入れなどが盛り込まれています。



南越前町総合防災訓練実施

10月22日、町内全域で町民約2,000人が参加し総合防災訓練が実施されました。

訓練は、町民や防災関係機関などそれぞれの役割を確認し、応急対策に関する検証および確認を行うとともに、防災に対する意識の高揚を図る目的で行われたものです。

